

申請者履歴書

日本語または英語で、（１）から（４）までを１ページ以内、（５）を５ページ以内で記載してください。

（１）申請者の本人確認情報

- 氏名（日本語の場合はよみがなも）
- 国籍
- 生年月日
- 住所
- E-Mail
- 電話番号
- 現在の所属機関・部局・職名
- researchmap または ORCID の ID

（２）学歴（大学卒業以降の学歴を最新のものから順にさかのぼって記載）

（３）職歴（最新のものから順にさかのぼって記載）

（４）研究分野

(5)

申請者のプロジェクト運営推進能力を示す主要業績を、(a) 書籍等出版物、(b) 論文（査読の有無を明記）、(c) MISC、(d) 講演・口頭発表等、(e) Works(作品等)、(f) メディア報道、(g) 受賞、(h) 競争的資金の獲得及びプロジェクト運営、(i) 行政・企業等との共同研究、(j) 学術貢献活動（学会・シンポジウム・ワークショップの運営等）、(k) 教育活動（担当授業、指導学生数、学位論文審査数等）、(l) 社会貢献活動（団体役員、審議会委員等）、(m) その他特記事項に区分して記載してください。網羅的に記載するのではなく、おおむね過去 5 年間のものを中心に記載してください。それ以前でも申請書の内容と関係の深い業績は記載してかまいません。記載にあたっては、区分ごとに現在からさかのぼり、通し番号を付けてください。例えば原著論文であれば著者名・論文名・掲載誌名・巻号・頁・発表年（西暦）・DOI、賞であれば名称・授与機関・受賞年といった当該業績を同定できる情報を記入してください。申請者には下線を付してください。

(a) 書籍等出版物

(b) 論文

(c) MISC

(d) 講演・口頭発表等

(e) Works(作品等)

(f) メディア報道

(g) 受賞

(h) 競争的資金の獲得及びプロジェクト運営

(i) 行政・企業等との共同研究

(j) 学術貢献活動（学会・シンポジウム・ワークショップの運営等）

(k) 教育活動（担当授業、指導学生数、学位論文審査数等）

(l) 社会貢献活動（社会活動、団体役員、審議会委員等）

(m) その他特記事項